

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】平成 16 年 8 月 19 日 (2004.8.19)

【公開番号】特開 2002-303438 (P2002-303438A)

【公開日】平成 14 年 10 月 18 日 (2002.10.18)

【出願番号】特願 2002-99318 (P2002-99318)

【国際特許分類第 7 版】

F 2 4 F 7/06

F 2 4 F 6/00

F 2 4 F 6/04

【F I】

F 2 4 F 7/06 C

F 2 4 F 6/00 Z

F 2 4 F 6/04

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 8 月 1 日 (2003.8.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 4】

図 6 に示すように、第 3 の実施の形態の空気調和装置における熱交換水供給装置 1 0 では、熱交換水循環ポンプ 1 1 から流路 2 1 に圧送された熱交換水は各熱交換器 7 A, 7 B, 7 C の水入口ヘッダ (図示せず) に供給され、各熱交換器 7 A, 7 B, 7 C の水出口ヘッダ (図示せず) から流路 2 2, 2 4 を通って熱交換水循環ポンプ 1 1 の吸い込み側に戻るようになっており、流路 2 4 には流路 2 6 を介して熱交換水を補給でき、流路 2 2 から流路 2 7 を介して熱交換水を流路 2 2 から流出させることができるようになっている。尚、図 6 において符号 1 9 は開閉弁である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 5】

流路 2 7 には第 1 の実施の形態のものと同じように純水の補給水量を制御する第 2 制御弁 1 4 が設けられている。

熱交換水循環ポンプ 1 1 の駆動モータ (図示せず) はモータ回転数を可変にするインバータを装備しており、この駆動モータの回転数を温度センサ 3 0 の検出値に基づき温度指示調節計 3 1 を介して制御し、熱交換水の流量を自動制御している。つまり、第 3 の実施の形態では温度指示調節計 3 1 と熱交換水循環ポンプ 1 1 が熱媒体供給量制御手段を構成する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】符号の説明

【補正方法】変更

【補正の内容】

【符号の説明】

- 1 クリーンルーム（クリーンエアの循環経路）
- 3 下部リターンプレナムチャンバ（クリーンエアの循環経路）
- 4 リターンシャフト（クリーンエアの循環経路）
- 5 上部リターンプレナムチャンバ（クリーンエアの循環経路）
- 7 熱交換器
- 7 c コイル（ジャケット）
- 1 2 第1制御弁（熱媒体供給量制御手段）
- 1 4 第2制御弁（熱媒体温度制御手段）
- 1 1 熱交換水循環ポンプ（熱媒体供給量制御手段）
- 3 0 温度センサ（温度検出手段）
- 3 1 温度指示調節計（熱媒体供給量制御手段）
- 3 2 露点センサ（湿度検出手段）
- 3 3 露点指示調節計（熱媒体温度制御手段）
- 4 0 純水滴下装置（純水供給装置）